



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- ー サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標
- ー 指標・目標と活動の成果
- ー NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン
- ー NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

サステナビリティマネジメント

サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

サステナビリティ推進体制

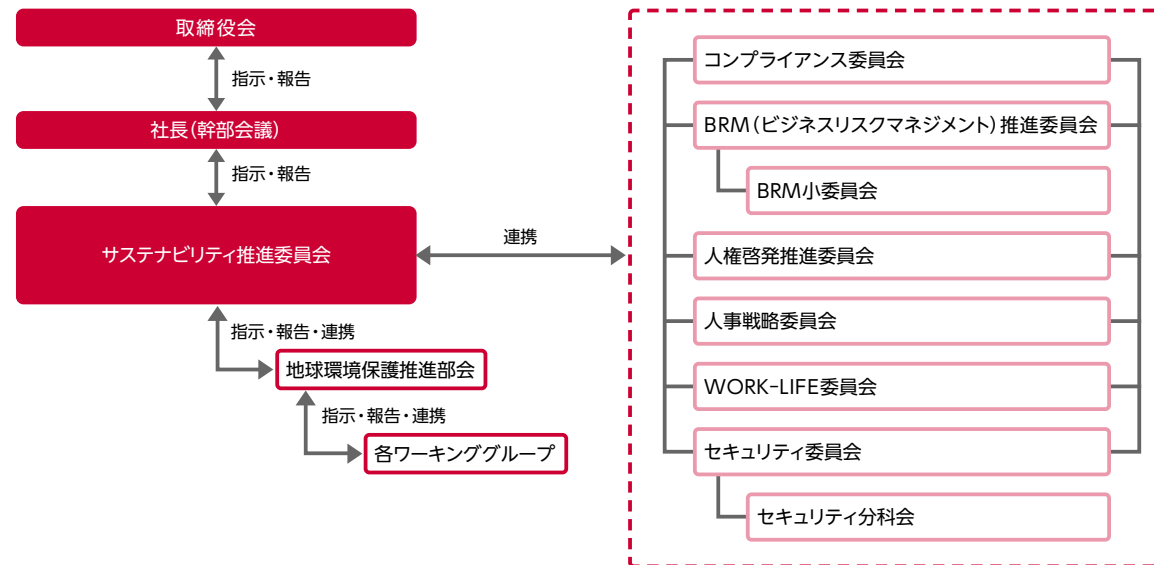
私たちは、ESGを巡る顕在/潜在的な社会課題に対して対応策を検討し、サステナビリティ活動を総合的・戦略的かつ的確に推進・マネジメントしていくための会議体として「サステナビリティ推進委員会」を設置しています。委員会はサステナビリティ推進担当役員である常務執行役員を責任者と定め、各組織長(執行役

員など)、各グループ会社社長を構成メンバーとし、委員会内部には「地球環境保護推進部会」を設けています。また、サステナビリティ活動を推進するうえで対応すべき重要テーマについては、個別に委員会などが設置されており、これらの委員会と連携しつつ適切な対応を行うべく、グループ横断で情報共有・連携し、グループ全体でサステナビリティを推進する体制を構築しています。

ガバナンス

このようなサステナビリティ推進体制のもと、各委員会などで報告・検討された事項については、取締役会へと共有されており、審議を経た後、課題の対応や経営戦略、事業計画の意思決定をするうえで最終決定を行っています。取締役会では、これらの取り組みとともに、監査役会からの提言などを総合し、サステナビリティ活動の戦略的かつ適確な推進に向けて、必要なガバナンスを実施しています。

[サステナビリティ推進体制図]



サステナビリティ推進委員会メンバー・事務局

委員長： サステナビリティ推進担当役員(常務執行役員)
 委員： 各組織長(執行役員など)、各NTT Comグループ社長
 事務局： サステナビリティ推進室



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- － サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標
- － 指標・目標と活動の成果
- － NTTコミュニケーションズグループ サービス提供に関するバリューチェーン
- － NTTグループとの関係／外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

リスク管理

私たちは、事業の内外に潜在するリスクの発生を予想・予防し、リスクが顕在化した場合でも損失を最小限に抑え、持続的な成長に資することを目的として、リスクマネジメントの基本的事項を定めた「リスクマネジメント規程」を制定し、重点活動項目の主幹組織などにおいて必要な取り組みを行っています。また、事業運営に影響をおよぼすような大規模なリスクなどに適切に対応するための体制および仕組みとして、代表取締役副社長を委員長とする「ビジネスリスクマネジメント推進委員会」を設置し、リスクマネジメントのPDCAサイクルを構築・運用しており、サステナビリティ関連のリスクの識別、評価、管理に関するプロセスも、この総合的なリスク管理プロセスに統合されています。

このような各主管組織の主体的な社会課題・リスク・事業機会への取り組みおよび管理の実施をベースとしつつ、NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ活動を総合的かつ適確に推進するため、ESGをめぐる国内外の最新動向や中期経営戦略・経営方針などを踏まえつつ、各主要推進事項と評価指標(KPI)・目標を総合調整のうえ、最終設定するとともに、その達成度合いを検証・評価・総括し、次年度の主要推進事項、指標の策定に反映しています。これらのプロセスは、サステナビリティ基本方針および重点課題の再検討なども含めて、サステナビリティ推進委員会を通じて実施されます。

戦略

NTTコミュニケーションズグループは、4つの重点領域(社会・環境・人材・ガバナンス)における顕在／潜在的な社会課題やそれらに伴うリスクと事業機会に対応するための取り組みとして、重点活動項目の配下に、主要推進事項を定めています。私たちは、サステナビリティ基本方針のもと、これらの主要推進事項について、①バリューチェーンパートナーシップ、ステークホルダー・エンゲージメントおよび人的資本の充実を図りつつ、②お客さま、パートナーの皆さまをはじめさまざまなステークホルダーの皆さまとの幅広い協働・共創をベースに取り組み、③自らの事業活動がもたらす、バリューチェーン全体を通じた社会への「正の効果の一層の発揮」と「負の影響やリスクの最小化」を進め、その積み重ねにより、企業価値の持続的な向上を図りつつ、サステナブルな未来の実現に向けた各種取り組みを戦略的かつ的確に推進していきます。

なお、特定した重点活動項目ごとの主要推進事項とその評価指標(KPI)・目標の設定に向けたプロセスの詳細は、次ページの「重点活動項目(マテリアリティ)の特定・設定および主要推進事項、指標(KPI)・目標の設定プロセス」の通りです。

P.012 ▶ 主要推進事項の詳細はレポート内「指標・目標と活動の成果」中の表をご覧ください

P.021 ▶ バリューチェーン全体を通じた取り組みについてはレポート内「NTTコミュニケーションズグループ サービス提供に関するバリューチェーン」をご覧ください

● 全管理職を対象とした報酬連動指標の運営

重要なサステナビリティ指標(2024年度は温室効果ガス排出量、顧客エンゲージメント率、社員エンゲージメント率、および女性新任管理者登用率)については、役員報酬・全管理者の賞与の評価指標に設定し、指標の達成状況を報酬に反映させています。



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

ー サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

ー 指標・目標と活動の成果

ー NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

ー NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材

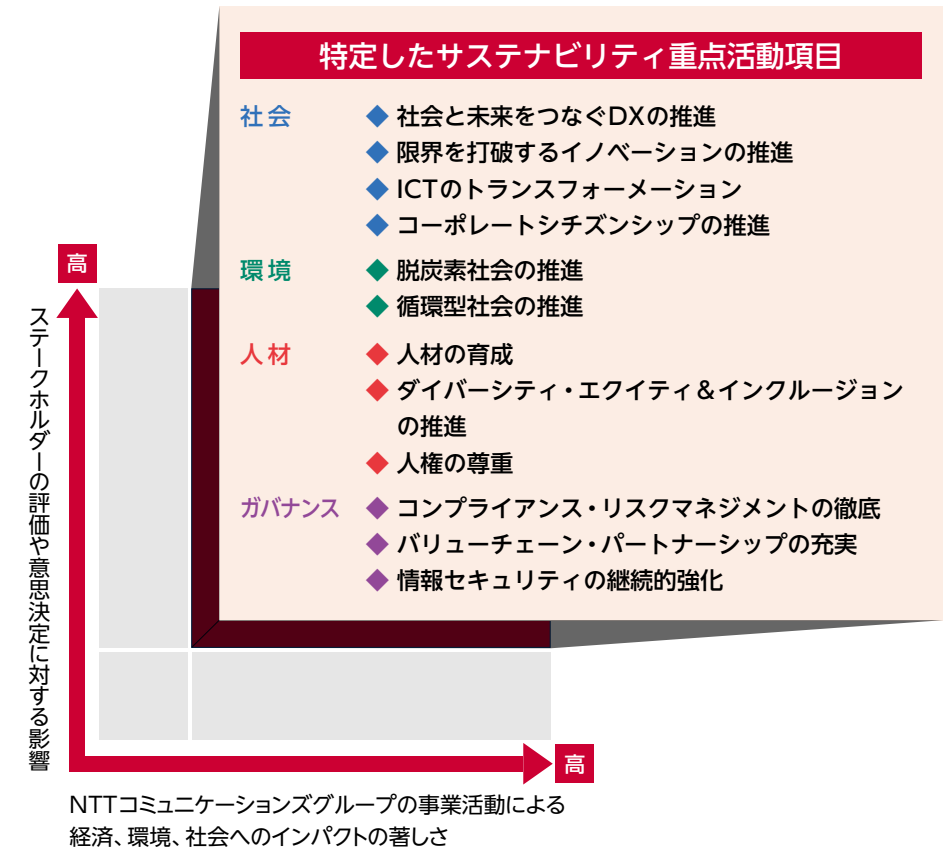


ガバナンス

第三者保証

企業情報

重点活動項目(マテリアリティ)の特定・設定および主要推進事項、指標(KPI)・目標の設定プロセス





CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

－ サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

－ 指標・目標と活動の成果

－ NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

－ NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

指標・目標と活動の成果

サステナビリティ基本方針の重点領域(社会、環境、人材、ガバナンス)、重点活動項目ごとの2023年度の主要推進事項、評価指標(KPI)・目標と活動の成果(振り返り、評価と今後に向けて)、そして、それらを受けた2024年度の主要推進事項と指標(KPI)・目標は、次の通りです。



社会

目指す未来

イノベティブで活力にみち、強靱で安心・安全、そして価値創発で持続的に発展するよりよい未来

2023年度

主要推進事項	指標(KPI)	振り返り	評価
--------	---------	------	----

重点活動項目 | 社会と未来をつなぐDXの推進

社会・産業DXの推進	<p>定性 BBX戦略に基づくSmart World推進</p> <p>定性 DX推進による持続可能な地域社会の実現の推進</p> <p>定量 提供サービス：5件</p>	<p>定性 BBX関連対発表60件</p> <p>定性 ● 地域における重点業界に対し、支社支店と一体となった顧客アプローチ・DX支援により地域・中小企業の活性化を推進 ● データ活用ビジネスなどの各地域/業界の課題解決につながるマーケットイン型の提案モデル創出にも着手</p> <p>定量 提供サービス：7件 ● モバイルと固定の融合により音声通信環境をDXするArcstar IP Voiceワイヤレスなど4件 ● リージョナルアラートダイレクトなど3件</p>	○
ワーク/ライフスタイルDXの推進			○
グローバルビジネスDXの推進	<p>定性 グローバルDXソリューションの展開</p>	大手外資系製造業へのグローバルIoTプラットフォーム構築案件を受注	○



2024年度

主要推進事項	指標(KPI)
--------	---------

社会・産業・ワーク&ライフスタイルDXの推進	<p>定量 新 統合ソリューション収益および収益比率</p> <p>定量 新 顧客エンゲージメント(NPI、NPS) ※ 従業員1,000人以下の企業層対象</p>
DX推進による持続可能な地域社会の実現	<p>定量 新 地域協創ビジネスの成長(対前年増)</p>
グローバルビジネスDXの推進	<p>定性 グローバルDXソリューションの展開</p>

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

－ サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

－ 指標・目標と活動の成果

－ NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

－ NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
--------	----------	------	----

重点活動項目 | 限界を打破するイノベーションの推進

創造的イノベーションの創出	定性 創造的でイノベティブな Smart X の推進	● イノベーションセンター発である風況プラットフォームサービスを推進 ● 制御システムセキュリティリスクを可視化する「OsecT」のパートナー向けのサービス提供を開始	○
イノベーション・マネジメントの推進	定性 社内外と連携した創造的なイノベーションの推進	● 新規事業創出コンテスト「DigiCom」(現在は「docomo STARTUP CHALLENGE」)などの新規事業創出プログラムの企画運営	○

重点活動項目 | ICTのトランスフォーメーション

自然災害に強く、高信頼で、安心・安全なICTサービスの提供	定量 安定サービス提供率：99.99% ● 音声サービス ● 法人向けNWサービス ● クラウドサービス	● 99.99%達成 ● 音声サービス(県間・県内電話サービス、国際電話サービス)やクラウドサービス(ECL1.0)のマイグレーションが完了	○
先進的で強固な情報・サイバーセキュリティの提供	定量 先進的で強固なセキュリティサービスの開発/メニューの追加：3件	● IDセキュリティ(tenable/CrowdStrike) ● マネージドCSPM(CWPP) ● WideAngle MSSサービスサイズ(ログ容量サイズ)	○
顧客の安心・安全なトランスフォーメーションを支援するマネージドサービスの提供	定量 安心・安全なICT社会の持続的発展を支援するマネージドサービスの開発/新メニューの提供：2件	● XmPFにおける体感品質モニタリングとの連携 ● ZABICOM利用規約型(メニュー選択型)の提供	○

2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
--------	----------

創造的イノベーションの創出	定量 新 イノベティブな事業の持続を支える知財重点テーマの特許出願(テーマごとに2桁/年の特許出願) テーマ： ● Smart World ● 統合型ネットワークサービス(RINK) ● 生成AI ● IOWN
---------------	--

自然災害に強く、高信頼で、安心・安全なICTサービスの提供	定量 新 重大事故発生件数ゼロ
-------------------------------	---------------------------

先進的なICTサービスの提供	定量 先進的で強固なセキュリティサービスの開発/メニューの追加：3件
----------------	--

	定量 安心安全なICT社会の持続的発展を支援するマネージドサービスの開発/新メニューの提供：2件
--	--

	定量 新 顧客提供価値にフォーカスしたボイス・アプリケーションサービスの新規メニュー提供：3件
--	---



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

ー サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

ー 指標・目標と活動の成果

ー NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

ー NTTグループとの関係／外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
先進的で柔軟なネットワークサービスの提供	定量 提供サービス4件	提供サービス：4件 ● [docomo business RINK®]のPhase1 ● APN専用線プラン powered by IOWN® ● IoT Connect Mobile アクティブマルチアクセスSIM ● IoT Connect Gateway 仮想コネクション機能の追加 など	○

重点活動項目 | コーポレートシチズンシップの推進

持続可能な未来に資する社会貢献活動の推進	定性 地域社会貢献活動への参加 機会の拡大	新たな取り組みとして以下を実施 ● NTTコミュニケーションズグループ独自プロボノの実施 (支援NPO 3団体 社員参加10名) ● サステナビリティ社会応援募金の実施 (参加社員数延べ1,508名募金額7,908,000円)	○
----------------------	------------------------------------	---	---

2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
先進的なICTサービスの提供	定量 先進的で柔軟なネットワークサービスの提供：4件

持続可能な未来に資する社会貢献活動の推進	定量 新 新規社会貢献活動の実施：2件
----------------------	--------------------------------------

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

- 指標・目標と活動の成果

- NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

- NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報



環境

目指す未来

カーボンニュートラルで、資源が循環し、
生物多様性が保全されて自然と共生する、グリーンな未来

私たちは、以下の関連主要推進事項により、「2030年度カーボンニュートラル (NTTコミュニケーションズグループが排出するGHG：Scope1,2の実質ゼロ化)」を目指します。



2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
--------	----------	------	----

重点活動項目 | 脱炭素社会の推進

GHG排出量の削減	定量 カーボンニュートラル(2030年度) ※GHGプロトコル：Scope1,2を対象 2023年度GHG排出量 (Scope1,2)：11.7万t-CO ₂ e	9.7万t-CO ₂ e	○
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率： 2030年度100%、2025年度50%	41%	○
エネルギー効率向上の推進	定量 通信事業の電力効率： 2030年度に2013年度比10倍以上	4.7倍	○
GHG排出量の削減に貢献するサービス等の提供	定量 GHG排出量削減に貢献するサービスの共創等の推進：2件	<ul style="list-style-type: none"> ● 超省エネ型データセンターサービス「Green Nexcenter[®]」の展開 ● 「水稻栽培における中干し期間延長」によるJ-フレジット創出・販売開始 など 	○

2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
--------	----------

GHG排出量の削減	定量 カーボンニュートラル(2030年度) ※GHGプロトコル：Scope1,2を対象 2024年度GHG排出量(Scope1,2)：9.5万t-CO ₂ e 定量 ネットゼロ(2040年度) ※GHGプロトコルScope1,2,3を対象 定量 新 データセンター電力(Scope2の由来となる電力)再エネ化率： 2030年度100%、2024年度54%
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率：2030年度100%、2025年度50%
エネルギー効率向上の推進	定量 通信事業の電力効率：2030年度に2013年度比10倍以上
GHG排出量の削減に貢献するサービス等の提供	定量 2024年度のGHG排出量削減をはじめとする地球環境に貢献するサービスの共創・拡大等の推進：5件以上

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

- 指標・目標と活動の成果

- NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

- NTTグループとの関係／外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
--------	----------	------	----

重点活動項目 | 循環型社会の推進

3R (削減、再使用、再資源化) の徹底	定量 廃棄物のリサイクル率： 2030年度99%以上、 2023年度98.2%以上	97.8%	△
プラスチックの循環利用の推進			

2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
--------	----------

3R (削減、再使用、再資源化) の徹底	定量 廃棄物のリサイクル率：2030年度99%以上、2024年度97.8%以上 定量 新 廃棄物処理 (PCB) に関する法令違反件数：0件 定性 新 業務用紙 (事務用紙・請求書) 使用量の継続的削減
----------------------	---

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成

P045

➤ 2030年度カーボンニュートラル (Scope1,2) および2040年ネットゼロ (Scope1,2,3) の実現に向けた考え方については、レポート内「環境マネジメント」をご覧ください



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

- 指標・目標と活動の成果

- NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

- NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報



人材

目指す未来

多様性に富み、誰もが尊重され共に高め合い、
社会に応じて自分らしく活躍できる未来

2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
--------	----------	------	----

重点活動項目 | 人材の育成

社員がキャリア実現のために自律的に学び成長できる施策の推進(社員と事業が共に成長する成長循環)	定量 一人当たり研修費用：22万円/年	● 研修費用 21.7万円 ● DX人材：94.6%(実績値)	△
	定量 DX人材：2023年度末100%		

重点活動項目 | ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

多様な人材の雇用・育成・登用と機会均等の推進	定量 女性管理者比率：2025年15%	● 女性管理者比率：10.5%(2024年4月時点) ● 女性新任管理者登用率：30%	○
	定量 女性の新任管理者登用率：30%		
	定量 男性育休取得率：100%	116%*1	○
	定量 障がい者雇用率：2.3%	4.5%(2023年6月1日時点、NTTコミュニケーションズ直接雇用者) ※ドコモグループ全体は2.5%(2023年6月1日時点)	
	定量 外部人材の採用：30%	外部人材の採用率：43.1%*2	

※1 2024年4月1日現在 集計範囲：NTTコミュニケーションズ単体および出向受け入れ含む

※2 分母にはドコモ新卒採用かつ弊社への出向配属者を含む



2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
--------	----------

社員がキャリア実現のために自律的に学び成長できる施策の推進(社員と事業が共に成長する成長循環)	定量 一人当たり研修費用：22万円/年
---	------------------------

多様な人材の雇用・育成・登用と機会均等の推進	定量 女性管理者比率：2025年15%
	定量 女性の新任管理者登用率：30%
	定量 新 役員に占める女性割合：2025年25~30%
	定量 男性育休取得率：100%
	定量 障がい者雇用率：2.5%
定量 外部人材の採用：30%	

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

- 指標・目標と活動の成果

- NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

- NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
ワークライフバランスの推進	定量 エンゲージメントスコア 対前年改善(中期目標：65%)	● NTTコミュニケーションズグループ：59%(対前年▲2ポイント) ● NTTコミュニケーションズ単体：62%(対前年▲1ポイント) ※ただし、四半期調査の平均値はNTTコミュニケーションズグループ61%、NTTコミュニケーションズ単体65%と横ばい・改善傾向	△
	定量 リモートワーク実施率 リモートスタンダード組織：60% オフィススペース組織：40%	● リモートスタンダード組織：79% ● オフィススペース組織：61% ※2023年4月～2024年3月、全社平均は76%	○
労働安全衛生・健康管理の徹底	定量 業務災害ゼロ	1件	△

重点活動項目 | 人権の尊重

プロアクティブな人権啓発活動の推進	定量 人権研修受講率：100%	● NTTコミュニケーションズグループ：97.3% ● NTTコミュニケーションズ単体：97.7%	△
	定量 人権デューデリジェンスの実施：1回以上/年	カントリーリスクの高いエリアでのプロジェクト案件について、社外機関によるアセスメントを再度実施	○
	定量 人権に関する違反件数：0件	1件	△

2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
ワークライフバランスの推進	定量 エンゲージメントスコア対基準年改善
	定量 新 自発的な働き方の肯定的な回答率
労働安全衛生・健康管理の徹底	定量 業務災害ゼロ
	定量 新 プレゼンティーズム損失率
プロアクティブな人権啓発活動の推進	定量 人権研修受講率：前年度以上
	定量 人権デューデリジェンスの実施：1回以上/年
	定量 人権に関する違反件数：0件

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

— 指標・目標と活動の成果

- NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン
- NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報



ガバナンス

目指す未来

高い倫理観と確固としたガバナンスのもと、常に信頼され、多彩な共創がサステナブルな社会を織りなし、紡ぐ未来

2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
--------	----------	------	----

重点活動項目 | コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底

高い倫理観の共有とコンプライアンスの徹底	定量 重大なコンプライアンス違反発生件数：0件	0件	○
企業倫理の維持向上を目指す企業風土	定量 職場がオープンな雰囲気であるとする社員の回答率：97%	関連質問の平均肯定回答率：95.9%	△
リスク管理体制の継続的充実	定性 全社リスクマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスリスクマネジメント推進委員会(2回)、小委員会(12回)開催 四半期幹部会議報告(4回) 	○

重点活動項目 | バリューチェーン・パートナーシップの充実

サステナビリティ・グリーン調達の徹底に向けたサプライヤとの協働	定量 重要なサプライヤとの直接対話実施率：100%	<ul style="list-style-type: none"> 直接対話：5社(100%) SAQ：14社(100%) 	○
ステークホルダー・エンゲージメントの充実	定性 ステークホルダーとの対話や要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> SAQなどを通じサステナビリティ全般について顧客との対話の実施 	○

2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
--------	----------

高い倫理観の共有とコンプライアンスの徹底	定量 重大なコンプライアンス違反発生件数：0件
企業倫理の維持向上を目指す企業風土	定量 職場がオープンな雰囲気であるとする社員の回答率：97%
リスク管理体制の継続的充実	定性 全社リスクマネジメントの推進
サステナビリティ・グリーン調達の徹底に向けたサプライヤとの協働	定性 改善要請が必要なサプライヤとの直接対話実施率：100%
ステークホルダー・エンゲージメントの充実	定量 新 NGO/NPOや地域社会など幅広いステークホルダーとの対話機会の拡充(対前年度増)

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成





CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

ー サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

ー 指標・目標と活動の成果

ー NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン

ー NTTグループとの関係／外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

2023年度

主要推進事項	指標 (KPI)	振り返り	評価
--------	----------	------	----

重点活動項目 | 情報セキュリティの継続的強化

<p>セキュリティ・マネジメントの継続的強化</p>	<p>定量</p> <p>外部からのサイバー攻撃に伴う重大なインシデント発生件数：0件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大なインシデント発生件数：0件 ● 社内ネットワークにおける不正アクセス対策として、EDR／NDRに加えUEBAの導入完了 ● ツール導入によるセキュリティオペレーションの自動化・効率化を推進 ● セキュリティ委員会の開催を通じ、IT／OT資産管理や内部不正対策に向けたIT／セキュリティガバナンスを強化 ● 情報セキュリティ調査を、NTTコミュニケーションズ7組織とNTTコミュニケーションズグループ会社2社を対象に実施 	○
	<p>定性</p> <p>システム監査／情報セキュリティ監査やサイバーセキュリティ対策の実施、マネジメント体制の充実</p>		

2024年度

主要推進事項	指標 (KPI)
--------	----------

<p>セキュリティマネジメント・個人情報保護の継続的強化</p>	<p>定量 新</p> <p>サイバー攻撃に伴う重大なインシデント発生件数：0件</p>
	<p>定量 新</p> <p>重大な情報漏洩件数：0件</p>

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成



CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

ー サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標

ー 指標・目標と活動の成果

ー NTTコミュニケーションズグループ サービス提供に関するバリューチェーン

ー NTTグループとの関係/外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

NTTコミュニケーションズグループ サービス提供に関するバリューチェーン

NTTコミュニケーションズグループでは、事業活動が、バリューチェーン全体で社会や環境にどのような影響をもたらすかを把握し、サステナビリティ基本方針に沿って、SDGsと照らし合わせながら、改めて対応すべき主要事項を明確にしています。

SDGsの達成、そして、サステナブルな未来の実現に向けて、バリューチェーンパートナーシップの充実を図りつつ、事業活動を通じて、社会への正の影響を強化し、負のリスク・影響を最小化すべく、これらの主要事項の取り組みを進めていきます。

4つの重点領域 ◆ 社会 ◆ 環境 ◆ 人材 ◆ ガバナンス





CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

NTTコミュニケーションズグループのサステナビリティ

● サステナビリティマネジメント

- － サステナビリティ推進体制とガバナンス、リスク管理、戦略、指標・目標
- － 指標・目標と活動の成果
- － NTTコミュニケーションズグループサービス提供に関するバリューチェーン
- － NTTグループとの関係／外部との関係

私たちの事業を通じた社会課題の解決



社会



環境



人材



ガバナンス

第三者保証

企業情報

NTTグループとの関係

グループ一体でのサステナビリティの推進

NTTコミュニケーションズでは、NTTグループの一員として、2021年11月に「NTTグループCSR憲章」より改訂された「NTTグループサステナビリティ憲章」にもとづき、グループ一体での社会的課題の解決に取り組んでいます。NTTグループではこれに伴い、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、サステナビリティに関する基本戦略、活動の実施状況、情報開示について議論するなど、取り組みを推進しています。弊社グループも事業会社として参加し、委員会での決議事項については活動内容に反映していきます。

また、NTTグループでは、サステナビリティの取り組みに関する理解および促進を目的として、2013年度より「NTTグループサステナビリティカンファレンス」を開催しています。弊社グループは同カンファレンスで2016年度から連続して表彰されています。2023年度も積極的にサステナビリティの観点で貢献する施策やサービス事例を共有・報告しています。



「NTTグループサステナビリティ憲章」の詳細はこちらをご覧ください。

<https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/11/10/211110d.html>

外部との関係

外部団体への参加

NTTコミュニケーションズでは外部団体・組織への参加を積極的に行い、情報共有を行うことで社内の枠組みを超え、社会課題の解決につながる取り組みの共有を図っています。

外部団体への参加状況(主な団体のみ掲載)

- ・気候変動イニシアティブ(JCI)
- ・ジャパン・サーキュラー・エコノミー・パートナーシップ(J-CEP)
- ・グリーン購入ネットワーク(GPN)
- ・一般社団法人沖縄オープンラボラトリ(理事)
- ・一般社団法人高度ITアーキテクト育成協議会(理事)
- ・一般社団法人インターネットコンテンツセキュリティ協会(ICSA)(理事)
- ・一般社団法人セキュリティ対策推進協議会(SPREAD)

社外から経営陣へのアドバイザー

多様なステークホルダーの視点を適切に加味した経営の実現は重要な責務であると考えています。この考えに即し、各役員は、事業を通じた日常的な対話に加え、内外の会合への参加や個別面談などを積極的に行っています。特に事業戦略にサステナビリティの視点を加味するうえで内外の専門家・有識者との意見交換が重要であると考え、「経営陣と外部有識者のダイアログ」を継続的に実施しています。



「ダイアログ一覧」はこちらをご覧ください。

<https://www.ntt.com/about-us/csr/dialog.html>